

科 目		プレゼンテーション演習＋実地学習 I				
担当教員	石川美雪	学年	1	履修期間	前期	2
学科	情報システム科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
目的		①論理的思考力②人前で話せる度胸③コミュニケーション能力⇒相手のこと考えて説明を組み立てる。 ②伝える表現力をつけ、表現方法であるナンバリング・声の抑揚・間の取り方の工夫ができる。				
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	第1週	プレゼンテーション演習①				
第2週	第2週	プレゼンテーション演習①				
第3週	第3週	プレゼンテーション演習①				
第4週	第4週	プレゼンテーション演習①				
第5週	第5週	実地学習 春の散策				
第6週	第6週	プレゼンテーション演習②				
第7週	第7週	プレゼンテーション演習②				
第8週	第8週	実地学習 ごみ拾い				
第9週	第9週	プレゼンテーション演習②				
第10週	第10週	プレゼンテーション演習②				
第11週	第11週	プレゼンテーション演習③				
第12週	第12週	プレゼンテーション演習③				
第13週	第13週	プレゼンテーション演習③				
第14週	第14週	プレゼンテーション演習③				
第15週	第15週	プレゼンテーション演習④				
第16週	第16週	プレゼンテーション演習④				
第17週	第17週	プレゼンテーション演習④				
第18週	第18週	実地学習 DVD鑑賞				
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
プレゼンテーション発表時のプレゼンテーション評価と実地学習の振り返りレポートにより評価する						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書		:				
参考書		:				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目	SST・コミュニケーション I 前期					
担当教員	石川 美雪	学年	1	履修期間	前期	1
学科	情報システム科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が社会の中でどのように生きていくか</li> <li>・自分が社会とどのようにつながるかを考える</li> <li>・人間関係の構築とうまく生きるコツを身につける</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	対人マナーを身につける	「あいさつのマナー①・②」				
第 2 週	問題を解決する	「どちらにもいい顔はできない」				
第 3 週	上手に挨拶をするには					
第 4 週	上手に挨拶をするには					
第 5 週	感情をうまくコントロールする	「相手の表情から気持ちを読み取る」				
第 6 週	対人マナーを身につける	「誘うマナー①・②」				
第 7 週	ありがとうを上手に言うには					
第 8 週	ありがとうを上手に言うには					
第 9 週	問題を解決する	「みんなが気持ちよくなる言い方を考えよう」				
第 10 週	問題を解決する	「だれかに言われたことを思い出そう」				
第 11 週	ありがとうカード					
第 12 週	ありがとうカード					
第 13 週	対人マナーを身につける	「尋ねるマナー①・②」				
第 14 週	問題を解決する	「我慢することも大切」				
第 15 週	ごめんなさいを上手に言うには					
第 16 週	ごめんなさいを上手に言うには					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション教育とソーシャルスキルやキャリア教育を中心にグループワークを実践し、ロールプレイや変化に富んだ実習を多く入れる。</li> </ul>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点・定期試験(筆記試験・実技試験)による評価</li> </ul>						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		デジタルサウンド基礎実習 I (前期)				
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	30	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	コンピュータを使って作曲を行う。 簡単な音楽を作り、システムの素材として活用できる技術を学ぶ。				
<b>2. 講義計画</b>						
	第 1 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 1				
	第 2 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 2				
	第 3 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 1				
	第 4 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 2				
	第 5 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 1				
	第 6 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 2				
	第 7 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 1				
	第 8 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 2				
	第 9 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 1				
	第 10 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 2				
	第 11 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 3				
	第 12 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d 1				
	第 13 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d 2				
	第 14 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード, メロディー, +d 3				
	第 15 週	試験準備 1				
	第 16 週	試験準備 2				
	第 17 週	前期試験 1				
	第 18 週	前期試験 2				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	デジタルサウンド基礎実習 II					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	日常点および定期試験 (実技試験) および課題点により評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
	教科書	: プリントにて対応				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						
	パソコンを使つての実習である。					

科 目		表現技法 I (後期)				
担当教員	宮崎 亮	学年	2	履修期間	後期	1
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	30	単位時間	
1. 概要						
	目的	発声練習をすることによって、会話における声量や発音が聞きやすいようにすることを目的とする。				
2. 講義計画						
第1週	科目についてのガイダンス、発生についての説明					
第2週	発声の基礎。歌やトークをしながら学ぶ。					
第3週	課題曲1。台本1。					
第4週	課題曲1。台本1。配役を入れ替えながら行う。					
第5週	課題曲1。台本1。配役を入れ替えながら行う。					
第6週	課題曲1。台本1。配役を入れ替えながら行う。					
第7週	フリートーク					
第8週	課題曲2。台本2。					
第9週	課題曲2。台本2。配役を入れ替えながら行う。					
第10週	課題曲2。台本2。配役を入れ替えながら行う。					
第11週	課題曲2。台本2。配役を入れ替えながら行う。					
第12週	フリートーク					
第13週	課題曲3。台本3。					
第14週	課題曲3。台本3。配役を入れ替えながら行う。					
第15週	課題曲3。台本3。配役を入れ替えながら行う。					
第16週	課題曲3。台本3。配役を入れ替えながら行う。					
第17週	フリートーク					
第18週	フリートーク					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	授業に取り組む姿勢と達成度により評価する					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: 検定過去問題				
	参考書	:				
6. 注意事項						

科 目		カラーコーディネートⅠ（前期）					
担当教員	山本佳美	学年	1	履修期間	前期	1	
学科	情報システム科						
種別	演習	単位時間	30				
<b>1. 概要</b>							
目的	色彩理論を学び、色の活用方法を身につける。 色の使われ方に興味を持ち、視野を広げる。 学んだ知識を生活の中で活かし心豊かな日々を送ることを目指す。 色彩検定3級合格相当の知識を習得する。						
<b>2. 講義計画</b>							
第1週	オリエンテーション						
第2週	光と色・光の性質						
第3週	慣用色名・心に作用する色「赤・オレンジ」						
第4週	眼のしくみ/心に作用する色「黄」						
第5週	照明と色/心に作用する色「緑」						
第6週	混色/アクリル絵の具で実験						
第7週	色の表示と三属性/心に作用する色「青」						
第8週	PCCS色相/心に作用する色「紫」						
第9週	PCCS明度と彩度、PCCSトーン/心に作用する色「白」						
第10週	色の心理効果/心に作用する色「黒」						
第11週	色の視覚効果/心に作用する色「灰色」						
第12週	色彩調和「色相配色」(まとまり)						
第13週	色彩調和「色相配色」(変化)						
第14週	色彩調和「トーン配色」						
第15週	配色技法						
第16週	色の三属性とイメージ						
第17週	前期定期試験						
第18週	前期定期試験 解説						
<b>3. 関連科目および注意点</b>							
<b>4. 成績評価の方法</b>							
課題提出および定期試験、授業に臨む姿勢により評価する							
<b>5. 教科書および参考書など</b>							
教科書	: 色彩検定公式テキスト3級編、新配色カード199a						
参考書	:						
<b>6. 注意事項</b>							

科 目		デザイン基礎 I (前期)					
担当教員	中川 貴博	学年	1	履修期間	前期		2
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
種別	演習	単位時間	60				
<b>1. 概要</b>							
目的							
社会生活の中で有効となるデザインの考え方を学びながら、他者への理解と自己の理解を高め、様々な問題解決を図るための素養を培う。							
<b>2. 講義計画</b>							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	デザイン概論						
第 3 週	ビジュアルコミュニケーション						
第 4 週	画材基礎						
第 5 週	ドローイング基礎						
第 6 週	グレースケール						
第 7 週	カラスケール						
第 8 週	発想演習						
第 9 週	発想演習						
第 10 週	発想演習						
第 11 週	発想演習						
第 12 週	カラーブロック						
第 13 週	カラーブロック						
第 14 週	カラーブロック						
第 15 週	具象ブロック						
第 16 週	具象ブロック						
第 17 週	具象ブロック						
第 18 週	具象ブロック						
<b>3. 関連科目及び注意点</b>							
<b>4. 成績評価の方法</b>							
日常点及び課題提出							
<b>5. 教科書及び参考書など</b>							
教科書	:						
参考書	:						
<b>6. 注意事項</b>							

科 目		情報処理講座 I (前期)				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	講義	単位時間	90	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	基本情報処理技術者試験の認定講座。認定教材を使って学習を進める。ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベースなど、多岐の分野の学習をする。後期の情報処理講座Ⅱに続く。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	コンピュータの基本構成 コンピュータのデータ表現 (データの表現)					
第 2 週	基数と基数変換、データの表現形式					
第 3 週	中央処理装置と主記憶装置					
第 4 週	補助記憶装置					
第 5 週	入出力方式/練習問題					
第 6 週	情報処理システムの処理形態、高信頼性システムの評価					
第 7 週	情報処理システムの評価					
第 8 週	ヒューマンインタフェース、マルチメディア					
第 9 週	ソフトウェアの分類、OS					
第 10 週	プログラム言語、ファイル					
第 11 週	データベース、データベース設計					
第 12 週	SQL					
第 13 週	SQL、さまざまなデータベース					
第 14 週	ネットワーク インターネット					
第 15 週	ネットワークアーキテクチャ					
第 16 週	ネットワークの仕組み					
第 17 週	練習問題					
第 18 週	練習問題					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	アルゴリズム					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	平常点および定期試験 (筆記試験) にて行う。					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	: ITワールド					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
	座学。					

科 目		アルゴリズム（前期）					
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	前期	単位	1
学科	情報システム科						
種類	講義	単位時間	30	単位時間			
<b>1. 概要</b>							
目的	HTMLおよびWebページのデザインを中心に学ぶ。ユーザーが使いやすい、見やすい、Webページを作る技術を取得し、自社のWebページを作成できるようにする。						
<b>2. 講義計画</b>							
第 1 週	疑似言語	疑似言語とは	授業についての説明				
第 2 週	変数	条件式	関係演算子				
第 3 週	論理演算子	if else elseif do while					
第 4 週	for、	関数、	トレース練習問題				
第 5 週	文法	練習問題					
第 6 週	一次元	配列、練習問題					
第 7 週	二次元	配列、練習問題					
第 8 週	練習問題						
第 9 週	オブジェクト指向						
第 10 週	練習問題						
第 11 週	スタック						
第 12 週	練習問題						
第 13 週	キュー						
第 14 週	練習問題						
第 15 週	リスト						
第 16 週	練習問題						
第 17 週	問題演習						
第 18 週	問題演習						
<b>3. 関連科目及び注意点</b>							
情報処理講座 I							
<b>4. 成績評価の方法</b>							
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価							
<b>5. 教科書及び参考書など</b>							
教科書	：出るところだけ！基本情報技術者 科目B						
問題集	：						
<b>6. 注意事項</b>							
パソコンを使つての実習である。							



科 目		C言語基礎（前期）				
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	60 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的	C言語の基本的な知識（変数、予約語、型、演算子、条件分岐、繰り返し構造、配列）について学習する。行数50行程度までの簡単なプログラミングができ、サーティファイC言語プログラミング能力認定試験3級の取得を目標とする。当科目は後期のプログラミング応用の前提知識となる。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	プログラミングの基本的な考え方					
第 2 週	C言語の基本（開発環境、画面出力、main関数、ブロック、コメント、インクルード）					
第 3 週	変数（識別子、型、宣言、代入、初期化）					
第 4 週	式と演算子 1（式、演算子、オペランド、インクリメント）					
第 5 週	式と演算子 2（代入、優先順位、キャスト）					
第 6 週	場合に応じた処理 1（条件、関係演算子、条件判断文、if文、else文）					
第 7 週	場合に応じた処理 2（条件、関係演算子、条件判断文、switch文）					
第 8 週	何度も繰り返す 1（繰り返し、for文）					
第 9 週	何度も繰り返す 2（繰り返し、while文、do-while文、break文、continue文）					
第 10 週	配列 1（配列の宣言、配列要素、添字、配列の初期化）					
第 11 週	配列 2（マクロ、多次元配列、文字列と配列）					
第 12 週	関数 1（関数の定義、関数の呼び出し、引数、戻り値、変数）					
第 13 週	関数 2（スコープ、記憶寿命、関数の宣言）					
第 14 週	関数 2（標準ライブラリ関数）					
第 15 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
第 16 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
第 17 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
第 18 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
情報処理講座を並行して受講していること。						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	：やさしいC（第5版、ソフトバンククリエイティブ）					
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使つての演習である。						

科 目		パソコン操作演習（前期）				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	30	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	Windowsの基本操作（エクスプローラー、設定、ショートカットキーなど）から、Wordで簡単なPOPやビジネス文書の作成が出来るまでの技術を学ぶ。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	パソコンの基本操作の確認					
第 2 週	Windows10の基本操作					
第 3 週	Word基礎1	画面、日本語入力、操作方法				
第 4 週	Word基礎2	ショートカットキー	マウスポインタ			
第 5 週	Word基礎3	書式の設定（センタリング等）				
第 6 週	Word基礎4	均等割り付け、表の挿入				
第 7 週	Word基礎5	テキストボックス・図形の挿入				
第 8 週	Word基礎6	画像の挿入、画像の加工				
第 9 週	Word基礎7	ビジネス文章作成				
第10週	Word基礎8	ビジネス文章作成				
第11週	ワープロ検定4級・3級模擬問題1					
第12週	ワープロ検定4級・3級模擬問題2					
第13週	ワープロ検定4級・3級模擬問題3					
第14週	Excel概要	セル・ワークシート・ブック	数式の考え方			
第15週	定期試験対策1					
第16週	定期試験対策2					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
ノートパソコンが必要						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	: 日経パソコン					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使っでの演習である。						

科目	認知機能トレーニング I (ET+ST)					
担当教員	石川 美雪	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	30 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的	<p>・ 認知機能の5つの分野(覚える・数える・写す・見つける・想像する)をトレーニングし、①視覚性の短期記憶②聴覚性の短期記憶と文章理解の課題を行い、認知機能を高める。</p> <p>・ 段階式感情トレーニング・危険トレーニング・対人マナートレーニング・段階式問題解決トレーニングし、感情コントロール、危険予知、対人スキル、自ら解決する力をつける。</p>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	覚える+数える	段階式感情トレーニング				
第 2 週	写す+見つける+想像する	段階式感情トレーニング				
第 3 週	覚える+数える	段階式感情トレーニング				
第 4 週	写す+見つける+想像する	段階式感情トレーニング				
第 5 週	覚える+数える	段階式感情トレーニング				
第 6 週	写す+見つける+想像する	段階式感情トレーニング				
第 7 週	覚える+数える	段階式感情トレーニング				
第 8 週	写す+見つける+想像する	段階式感情トレーニング				
第 9 週	覚える+数える	危険予知トレーニング				
第 10 週	写す+見つける+想像する	危険予知トレーニング				
第 11 週	覚える+数える	危険予知トレーニング				
第 12 週	写す+見つける+想像する	危険予知トレーニング				
第 13 週	覚える+数える	危険予知トレーニング				
第 14 週	写す+見つける+想像する	危険予知トレーニング				
第 15 週	覚える+数える	対人マナートレーニング				
第 16 週	写す+見つける+想像する	対人マナートレーニング				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<p>・ 関連科目は、「社会面ST」「学習面ET」「身体面OT」の3方面からの理解と支援となる。</p> <p>①認知機能の弱さ ②感情統制の弱さ ③融通の利かなさ ④不適切な自己評価 ⑤対人スキルの乏しさの ⑥身体的不器用さのどれに該当するのかを踏まえた上で支援やトレーニングを行う。</p>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
<p>・ 平常点・振り返りレポートによる評価</p>						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						

科目		認知作業トレーニング（前期）				
担当教員	田中 直子	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	30	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的						
①眼と身体と脳の繋がりを高める						
②見る、聞く、覚える、想像する力を高める						
③コミュニケーション力や集中力を高める						
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	オリエンテーション：知り合う、関わり合うムーブメント					
第2週	眼と身体の繋がりをを感じる：全身の動き					
第3週	眼と身体の繋がりをを感じる：眼と手の協応					
第4週	眼と身体の繋がりをを感じる：眼と手の協応					
第5週	眼と身体の繋がりをを感じる：眼と手の協応					
第6週	視空間認知力の向上					
第7週	記憶と再現					
第8週	記憶と再現					
第9週	記憶と再現					
第10週	聴覚性の短期記憶力向上					
第11週	聴覚性の短期記憶力向上					
第12週	聴覚性の短期記憶力向上					
第13週	見つける：眼の錯覚					
第14週	見つける：眼の錯覚					
第15週	見つける：図形					
第16週	見つける：回転図形					
第17週	見つける：間違いさがし					
第18週	心身を休める自律訓練法					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
身体操作法、コミュニケーションの授業と関連。						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
ペーパー試験は実施せず。振り返りシート（レポート）で評価						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書 : なし						
参考書 : なし						
<b>6. 注意事項</b>						

科目	SST・コミュニケーションⅡ後期(1年)					
担当教員	石川 美雪	学年	1	履修期間	後期	1
学科	情報システム科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が社会の中でどのように生きていくか</li> <li>・自分が社会とどのようにつながるかを考える</li> <li>・人間関係の構築とうまく生きるコツを身につける</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	初対面の人ときちんと話すには					
第2週	初対面の人ときちんと話すには					
第3週	対人マナーを身につける	「尋ねるマナー③・頼むマナー①」				
第4週	問題を解決する	「言い訳をすることも一つの方法」				
第5週	目上の人ときちんと話すには					
第6週	目上の人ときちんと話すには					
第7週	感情をうまくコントロールする	「自分の気持ちに気がつく」				
第8週	対人マナーを身につける	「頼むマナー②・謝るマナー①」				
第9週	自分の考えを上手に伝えるには					
第10週	自分の考えを上手に伝えるには					
第11週	問題を解決する	「みんなが納得するのは難しい」				
第12週	感情をうまくコントロールする	「あなたが悪いと言わずに聞いてあげる」				
第13週	友だちをつくろう					
第14週	友だちをつくろう					
第15週	対人マナーを身につける	「謝るマナー②・謝るマナー③」				
第16週	問題を解決する	「なんでも試してみよう」				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション教育とソーシャルスキルやキャリア教育を中心にグループワークを実践し、ロールプレイや変化に富んだ実習を多く入れる。</li> </ul>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点・定期試験(筆記試験・実技試験)による評価</li> </ul>						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:みるみる会話力がつくノート					
<b>6. 注意事項</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業導入としてエンカウンターをスキルの指導の般化・定着化課題として行う</li> </ul>						

科 目		プレゼンテーション演習＋実地学習Ⅱ				
担当教員	石川美雪	学年	1	履修期間	後期	2
学科	情報システム科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	①論理的思考力②人前で話せる度胸③コミュニケーション能力⇒相手のこと考えて説明を組み立てる。 ②伝える表現力をつけ、表現方法であるナンバリング・声の抑揚・間の取り方の工夫ができる。				
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	第1週	実地学習	秋の散策			
第2週	第2週	プレゼンテーション演習	⑤			
第3週	第3週	プレゼンテーション演習	⑤			
第4週	第4週	プレゼンテーション演習	⑤			
第5週	第5週	プレゼンテーション演習	⑤			
第6週	第6週	実地学習	ごみ拾い			
第7週	第7週	プレゼンテーション演習	⑥			
第8週	第8週	プレゼンテーション演習	⑥			
第9週	第9週	プレゼンテーション演習	⑥			
第10週	第10週	プレゼンテーション演習	⑥			
第11週	第11週	プレゼンテーション演習	⑦			
第12週	第12週	プレゼンテーション演習	⑦			
第13週	第13週	プレゼンテーション演習	⑦			
第14週	第14週	プレゼンテーション演習	⑦			
第15週	第15週	プレゼンテーション演習	⑧			
第16週	第16週	プレゼンテーション演習	⑧			
第17週	第17週	プレゼンテーション演習	⑧			
第18週	第18週	プレゼンテーション演習	⑧			
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	プレゼンテーション発表時のプレゼンテーション評価と実地学習の振り返りレポートにより評価する					
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	:				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		デジタルサウンド基礎実習Ⅱ（後期）				
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	30	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	マイクロソフト社Word2010の基本操作を取得する。 Word検定3級（サーティファイ主催）およびワープロ検定3級（日本情報処理検定普及協会）が合格できるレベルを目指す。				
<b>2. 講義計画</b>						
	第1週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	1			
	第2週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	2			
	第3週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1			
	第4週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2			
	第5週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	1			
	第6週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	2			
	第7週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	1			
	第8週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	2			
	第9週	B・POP 自前で作る	1			
	第10週	B・POP 自前で作る	2			
	第11週	B・POP 自前で作る	3			
	第12週	Bright POP自作	1			
	第13週	Bright POP自作	2			
	第14週	Bright POP自作	3			
	第15週	試験準備1				
	第16週	試験準備2				
	第17週	後期試験1				
	第18週	後期試験2				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	デジタルサウンド基礎実習Ⅰ					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
	教科書	：プリントにて対応				
	参考書	：				
<b>6. 注意事項</b>						
	パソコンを使つての実習である。					

科 目		カラーコーディネートⅡ（後期）					
担当教員	山本佳美	学年	1	履修期間	後期	1	
学科	情報システム科						
	種別	演習	単位時間	30			
1. 概要		目的	色彩理論に基づいた色の活用方法を身につける。 配色を工夫しイメージのコントロールができるようになる。 学んだ知識を生活の中で活かし心豊かな日々を送ることを目指す。 色を利用して自分らしい表現ができるようになる。				
2. 講義計画		第1週	ファッションの色彩				
		第2週	インテリアの色彩				
		第3週	慣用色名				
		第4週	色彩検定対策 過去問題				
		第5週	色彩検定対策 過去問題				
		第6週	色彩検定対策 過去問題				
		第7週	イメージ配色/時間のイメージ、季節のイメージ				
		第8週	イメージ配色/印象のイメージ				
		第9週	食品をイメージ分類				
		第10週	味覚のイメージ配色①				
		第11週	味覚のイメージ配色②				
		第12週	9イメージ分類				
		第13週	9イメージコラージュ（はなやか）				
		第14週	9イメージコラージュ（おだやか）				
		第15週	9イメージコラージュ（さわやか）				
		第16週	後期定期試験（イメージコラージュ作品）				
		第17週	後期定期試験（イメージコラージュ作品）				
		第18週					
3. 関連科目および注意点							
4. 成績評価の方法		課題提出および定期試験、授業に臨む姿勢により評価する					
5. 教科書および参考書など		教科書	：色彩検定公式テキスト3級編、新配色カード199a				
		参考書	：				
6. 注意事項							



科目	デザイン基礎Ⅱ（後期）						
担当教員	中川 貴博	学年	1	履修期間	後期	単位	2
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業					
種別	演習	単位時間	60				
<b>1. 概要</b>							
<p>目的</p> <p>社会生活の中で有効となるデザインの考え方を学びながら、他者への理解と自己の理解を高め、様々な問題解決を図るための素養を培う。</p>							
<b>2. 講義計画</b>							
第 1 週	ドローイング						
第 2 週	ビジュアル表現Ⅰ						
第 3 週	ビジュアル表現Ⅰ						
第 4 週	ビジュアル表現Ⅰ-②						
第 5 週	ビジュアル表現Ⅰ-②						
第 6 週	ビジュアル表現Ⅰ-③						
第 7 週	ビジュアル表現Ⅰ-③						
第 8 週	ビジュアル表現Ⅰ-③						
第 9 週	ビジュアル表現Ⅱ						
第 10 週	ビジュアル表現Ⅱ						
第 11 週	ビジュアル表現Ⅱ						
第 12 週	ビジュアル表現Ⅱ						
第 13 週	単化基礎						
第 14 週	単化基礎						
第 15 週	概念のビジュアル化						
第 16 週	概念のビジュアル化						
第 17 週	概念のビジュアル化						
第 18 週	デザイン概論						
<b>3. 関連科目及び注意点</b>							
<b>4. 成績評価の方法</b>							
日常点及び課題提出							
<b>5. 教科書及び参考書など</b>							
教科書	:						
参考書	:						
<b>6. 注意事項</b>							

科 目		情報処理講座Ⅱ（後期）				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	講義	単位時間	90	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	基本情報処理技術者試験の認定講座。認定教材を使って学習を進める。ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベースなど、多岐の分野の学習をする。情報処理講座Ⅰの続きとなる。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	情報セキュリティの概念					
第 2 週	情報セキュリティ技術					
第 3 週	情報セキュリティ管理					
第 4 週	情報セキュリティ対策					
第 5 週	科目A 練習問題					
第 6 週	科目A 練習問題					
第 7 週	科目A 練習問題					
第 8 週	科目A 練習問題					
第 9 週	科目A 練習問題					
第 10 週	科目A 練習問題					
第 11 週	科目A 練習問題					
第 12 週	科目B 練習問題					
第 13 週	科目B 練習問題					
第 14 週	科目B 練習問題					
第 15 週	科目B 練習問題					
第 16 週	科目B 練習問題					
第 17 週	科目B 練習問題					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	情報処理講座Ⅰ、アルゴリズム					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	平常点および定期試験（筆記試験）にて行う。					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	ITワールド、ITワールド問題集					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
	座学。					

科 目		Java応用（後期）					
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	後期	単位	2
学科	情報システム科						
	種類	演習	単位時間	60	単位時間		
<b>1. 概要</b>							
	目的	Java基礎の続きを行う。オブジェクト指向型言語によるプログラミング方法を学ぶ。					
<b>2. 講義計画</b>							
	第 1 週	メソッドと何か、引数、戻り値					
	第 2 週	オーバーロードとは、練習問題					
	第 3 週	ソースファイルを分割する、パッケージを利用する					
	第 4 週	名前空間、JavaAPI、練習問題					
	第 5 週	オブジェクト指向を学ぶ理由、定義と効果、全体像と本質、オブジェクトと責務、3大機能					
	第 6 週	仮想世界の作り方、クラスの定義方法、インスタンスの利用方法					
	第 7 週	クラス型と参照型、コンストラクタ					
	第 8 週	継承の基礎、					
	第 9 週	インスタンスの姿					
	第 10 週	高度な継承 抽象クラス					
	第 11 週	インタフェース、					
	第 12 週	多態性					
	第 13 週	カプセル化					
	第 14 週	JavaAPIを活用する					
	第 15 週	課題制作					
	第 16 週	課題制作					
	第 17 週	課題制作					
	第 18 週	課題制作					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>							
	情報処理講座 I						
<b>4. 成績評価の方法</b>							
	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>							
	教科書	: スッキリわかるJava入門					
	問題集	:					
<b>6. 注意事項</b>							
	パソコンを使つての実習である。						

科 目		C言語応用（後期）				
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	60 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的	前期のIT理論（C言語部門）の応用編である、C言語を使用した構造体、ポインタ、ファイルを使用したプログラミングを学ぶ。簡単な実用的なプログラムが作れ、サーティファイC言語プログラミング能力認定試験2級に合格することを目標とする。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	C言語1の復習					
第 2 週	ポインタ1（メモリ、アドレス）					
第 3 週	ポインタ2（ポインタ、アドレス演算子、間接参照演算子、const）					
第 4 週	配列・ポインタの応用1（配列とポインタの関係、引数と配列）					
第 5 週	配列・ポインタの応用2（文字列とポインタ、標準ライブラリ関数）					
第 6 週	配列・ポインタの応用3（文字列操作関数、メモリ操作関数）					
第 7 週	いろいろな型1（構造体、メンバ、ドット演算子、typedef）					
第 8 週	いろいろな型2（アロー演算子、共用体、列挙）					
第 9 週	ファイル入出力1（ストリーム、変換仕様、ファイル入出力）					
第 10 週	ファイル入出力2（バイナリアクセス、ランダムアクセス、コマンドライン引数）					
第 11 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
第 12 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
第 13 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
第 14 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
第 15 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
第 16 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
第 17 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
第 18 週	C言語プログラミング能力認定試験2級練習問題					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
情報処理講座を並行して受講していること。						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	：やさしいC（第5版、ソフトバンククリエイティブ）					
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験2級問題集（サーティファイ）					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使つての実習である。						

科目	認知機能トレーニングⅡ (ET+ST)					
担当教員	石川 美雪	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
	種別	演習	単位時間	30 単位時間		
<b>1. 概要</b>						
	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知機能の5つの分野(覚える・数える・写す・見つける・想像する)をトレーニングし、①視覚性の短期記憶②聴覚性の短期記憶と文章理解の課題を行い、認知機能を高める。</li> <li>・ 段階式感情トレーニング・危険トレーニング・対人マナートレーニング・段階式問題解決トレーニングし、感情コントロール、危険予知、対人スキル、自ら解決する力をつける。</li> </ul>				
<b>2. 講義計画</b>						
	第 1 週	覚える+数える	対人マナートレーニング			
	第 2 週	写す+見つける+想像する	対人マナートレーニング			
	第 3 週	覚える+数える	対人マナートレーニング			
	第 4 週	写す+見つける+想像する	対人マナートレーニング			
	第 5 週	覚える+数える	対人マナートレーニング			
	第 6 週	写す+見つける+想像する	対人マナートレーニング			
	第 7 週	覚える+数える	問題解決トレーニング			
	第 8 週	写す+見つける+想像する	問題解決トレーニング			
	第 9 週	覚える+数える	問題解決トレーニング			
	第 10 週	写す+見つける+想像する	問題解決トレーニング			
	第 11 週	覚える+数える	問題解決トレーニング			
	第 12 週	写す+見つける+想像する	問題解決トレーニング			
	第 13 週	覚える+数える	問題解決トレーニング			
	第 14 週	写す+見つける+想像する	問題解決トレーニング			
	第 15 週	覚える+数える	問題解決トレーニング			
	第 16 週	写す+見つける+想像する	問題解決トレーニング			
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連科目は、「社会面ST」「学習面ET」「身体面OT」の3方面からの理解と支援となる。</li> <li>①認知機能の弱さ ②感情統制の弱さ ③融通の利かなさ ④不適切な自己評価</li> <li>⑤対人スキルの乏しさの</li> <li>⑥身体的不器用さのどれに該当するのかを踏まえた上で支援やトレーニングを行う。</li> </ul>					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	・ 平常点・振り返りレポートによる評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
	教科書	:				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						
	・ 将来を見据えた生活観を考える時間とする。					

科目		認知作業トレーニング（後期）				
担当教員	田中 直子	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	30	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	①ワーキングメモリーの向上 ②集中力と的確な判断力の向上 ③正確な作業能力と処理能力を育む					
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	視覚性の短期記憶	： 図形記憶				
第2週	視覚性の短期記憶	： 数字記憶				
第3週	視覚性の短期記憶	： 文字記憶				
第4週	視覚性の短期記憶	： 文字数字ミックス				
第5週	数える	： 記号探し				
第6週	数える	： あいう算				
第7週	数える	： さがし算				
第8週	写す	： 点つなぎ				
第9週	写す	： 曲線つなぎ				
第10週	写す	： 折り合わせ図形				
第11週	写す	： 記号の返還				
第12週	写す	： 鏡映し				
第13週	写す	： くるくる星座				
第14週	想像する	： 穴の位置				
第15週	想像する	： 心で回転				
第16週	想像する	： 順位決定戦				
第17週	想像する	： 物語づくり				
第18週	セルフイメージ					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
身体操作法、コミュニケーションの授業との関連。						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
振り返りシート（レポート）で評価する						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書	： なし					
参考書	： なし					
<b>6. 注意事項</b>						